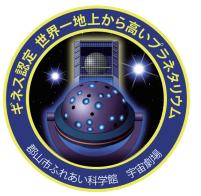


2026年

## 1月 ▶ 2月の星空



この図は

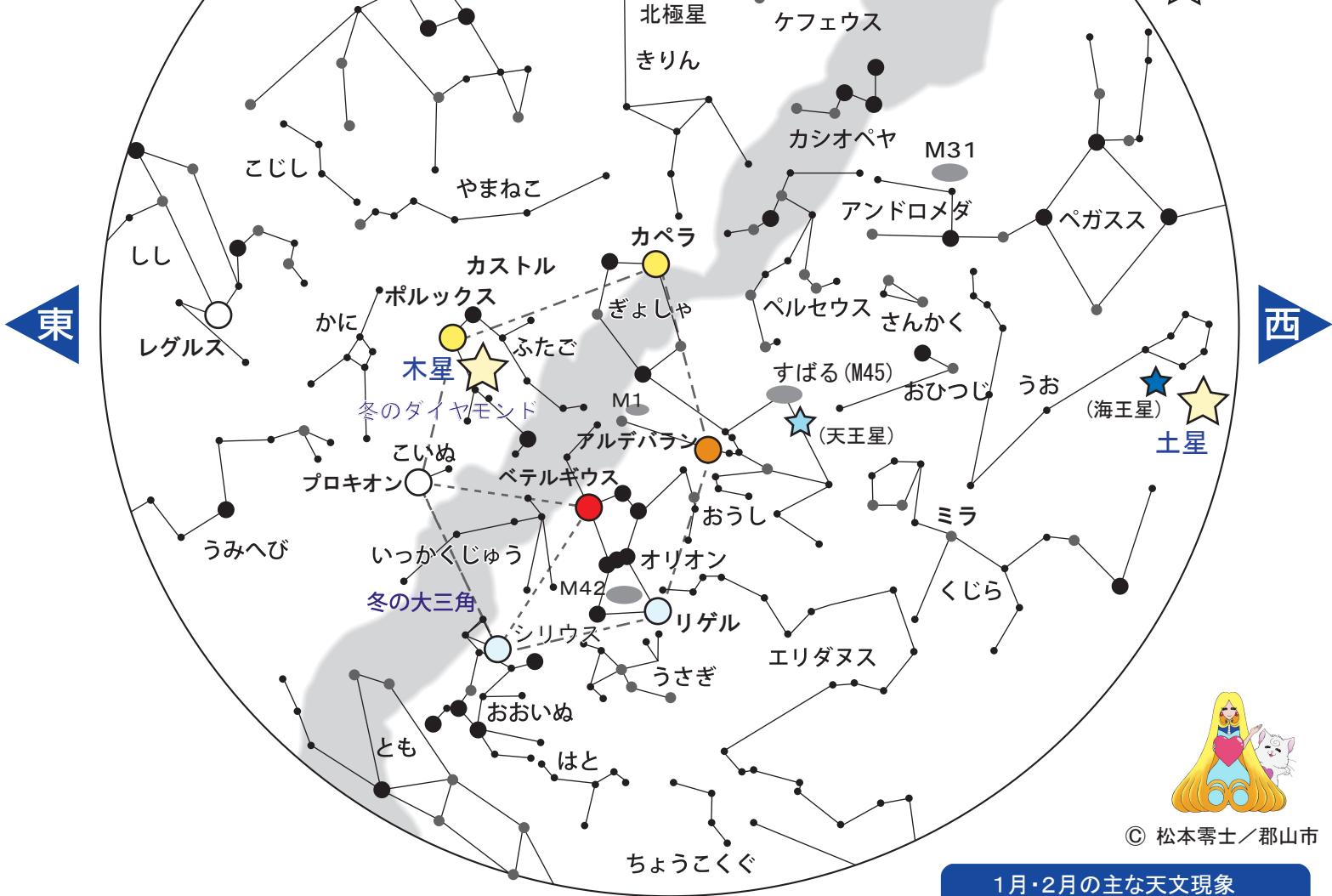
- 1/ 1 ▶ 22時  
1/15 ▶ 21時  
2/ 1 ▶ 20時  
2/15 ▶ 19時

頃の星空です。

(惑星の位置は 2月1日)

北

- 1等星
- 2等星
- ・ 3等星
- ・ 4等星以下
- 星雲星団
- ★ 惑星



© 松本零士／郡山市

郡山の日の出、日の入		
1/ 1	6:50	16:34
1/15	6:49	16:47
2/ 1	6:39	17:05
2/15	6:25	17:21

月の満ち欠け		
新月	1/19, 2/17	
上弦	1/26, 2/24	
満月	1/ 3, 2/ 2	
下弦	1/11, 2/ 9	

星図ダウンロードは  
こちらから

## 1月・2月の主な天文現象

1/ 4	しぶんぎ座流星群が極大
1/10	木星が衝
2/ 4	立春
2/20	水星が東方最大離角

1月4日、「しぶんぎ座流星群」が極大を迎えます。ピークの時間は午前6時ごろとされていますが、すでに空が薄明るくなっています。そのため、その直前の午前5時ごろが見頃となるでしょう。今年は満月を過ぎた月が昇っており月明かりの影響を受けてしまします。多くの流星は望めそうにはありませんが、朝方には月の高度が低くなるため、今回は夜更かしよりも早起きするのが良さそうです。

寒さの厳しい季節がやってきましたが、冬の夜空では色とりどりの星たちが美しく輝いています。南の空を眺めると、ひときわ明るくキラキラと瞬く青白い星が目に留まります。この星はおおいぬ座の「シリウス」で、星座をつくる星の中で一番明るい星です。シリウスの右上には赤く輝くオリオン座の「ベテルギウス」、左上には白く輝くこいぬ座の「プロキオン」があり、この2つの星とシリウスを結ぶと「冬の大三角」を描くことができます。星の色に注目するとおうし座の「アルデバラン」はオレンジ色の輝き、ぎょしゃ座の「カペラ」は黄色の輝きが素敵です。ふたご座の「カストル」と「ポルックス」は銀星・金星と言われるように仲良く並ぶ2つの星の色の違いが見えています。冬の星は色の違いに注目すると、より星が探しやすくなります。ぜひ色の違いを楽しんでみてください。

南

※上弦、下弦は半月です。  
※天王星は肉眼では見えません。